

土浦ケーブルテレビ株式会社 放送番組審議会 議事録

【日 時】 2014年3月18日(火) 午前11時30分開会

【場 所】 土浦ケーブルテレビ株式会社 2階会議室

<放送番組審議会委員> (五十音順)

ご出席

岩瀬 市朗様 木村 宏守様 楠 康夫様
坂本 榮様 宮本 幸男様

計5名

ご欠席

横山 豊教様

審議会会長選任

会長に坂本様を選任した。

事業者側から現況報告及びJ:COMチャンネルの報告があった。

【質疑応答・意見交換】

会長 委員の皆様から意見や質問を上げてほしい。

(KDDIとの合併について)

委員 KDDIの資本参加で具体的にどのようなことをやっているか教えてほしい欲しい。

事業者 当社としてはau勸奨と呼ばれる「au携帯電話の販売促進」も使命と考えている。一方、auSHOP(県南10店舗)においては、来店するお客さまにジェイコムサービスを紹介していただき、加入につなげる手助けをしていただいている。この相互協力がアライアンスの一つの結果とも言える。また、ジェイコム全局においては、営業チャンネルのなかにauクロスセルチームを設け、重要な販売カテゴリーと位置づけているとともに、訪問営業を主とする営業マンからもクロスセルチームにパス出し等を行うことでau携帯と当社サービスのコラボレーションを有意に果たすように努力しており、今後もこの体制を継続する予定である。

(番組視聴率について)

委員 地域の番組をやっていただいていたが大変良いのだが、視聴率は取っているのか。

事業者 視聴率はとってはいるが弊社の場合は多チャンネルとの対比という形になり、一般的なものと違う。最近ではデータ放送を使い参考値にしているが、公表はしていない。

(番組プロモーションについて)

委員 特番の花火、高校野球などで数値がわかると番組の有意性が測れて尚良いと思う。

また、プロモーション強化という点を言及していたようだが、安心安全番組がせっかくあるのに見ないことがある。もう少し力を入れるとよいと思う。

事業者 安心安全への取組では、ジェイコムは2012年から行政と手を結び、現在全国で100行政と協定を結んでいる。また、ジェイコムのサービスの緊急地震速報と行政防災無線とつなげ情報を発信できるようになってきた。

最近の例では、柏市の刺殺事件の際、柏の局では安全安心情報として情報を流した。地上波では事件にフォーカスして報道していたが、我々は安心安全の視点で防犯情報を流した。発信元は市役所でもあり、容疑者が逮捕された後、柏市防災安全課から「今回のJ:COMの取組みに大変感謝している」と御礼があった旨聞いている。

(広報番組と市議会中継の放送時間と番組プロモーションについて)

委員 最近の市の合併について気になるのでノーカットで放送される市議会中継をよくみる。市長の考え方などよくわかるので参考になる。ただ、放送時間が夜遅いので、早い時間での放送を希望する。時間帯はこれでよいのか。

もうひとつが番組の告知について。審議委員に向けて番組のお知らせが届いているが、もっと広く市民に配布したらよいと思う。

事業者 市議会の放送について、以前は午後3時に実験的に放送したことがあったが、3時では議会が開催されている時間で議員が見ることができないということで変更になった。放送時間は午後8時9時が良いと思うが、行政からのリクエストが午後10時であること、またノーカットで放送するため、終了時間を事前に確定できないためこの時間以外に編成することは難しい。今後の検討材料にしていきたい。

事業者 番組プロモーションについて、ジェイコムチャンネル番組表、番組サイトを軸としてプロモーションとして活用している。

お送りしている番組案内は番組審議委員の皆様用にお配りしているものであるが、加入者様にはガイドに「コミチャン番組表」を同封し見ていただく工夫をするとともに、営業活動のためにチラシを作り配布している。

事業者 加入者へ向けては特別番組などをメールにて案内をお送りしている。

(議会中継の放送時間と番組プロモーション、地域の皆さんの撮影について)

委員 土浦市議会の放送時間だが、私も10時台は遅いのではないかと思います。

番組プロモーション、PRについてももう少し強化してほしい。

最近地域の人の顔があまり見えないように思う。番組出演者ばかりでなく地域の人の顔も取り上げてほしい。もうすぐ桜祭りが各地である、是非多くの人たちを映してほしい。

事業者 一人でも多くに地域の皆さんが映るよう努力していきたい。

状況によってはあえて映さないこともある。場合によっては承認を得た上での撮影となる。

事業者 以前は卒業式などには必ず取材に行っていたし、依頼されることも多かった。しかし現在は難しくなっている。

事業者 承諾なく顔等を放送することに支障の出る社会になっており、プライバシーへの配慮、安全への線引きは必要になっている。

事業者 我々は「1000の声プロジェクト」という施策を行っている。1局で千人の人に登場してもらおうというもの。去年は1500人が目標であった。こんな細かい積み重ねで多くの人に登場いただこうと考えている。

(地域スポーツの応援について)

委員 先ほどから出ているが、番組をどう宣伝していくかについて取り組んでほしい。

地域情報番組の拡大、地域スポーツを応援するということだが、具体的には何を考えているか。

事業者 既存の番組ではコーナーとして、このほか新番組立上げも候補として考えている。秋の改編に向けて立ち上げたい。

また、茨城は高校野球やその他のスポーツ熱が高い、アスリートの中で注目する人がいればドキュメンタリーとして紹介したいし、チームスポーツも取り上げたい。

委員 2年ほど前に「インターハイへの道」という番組があった。そこで取り上げられた2人は成長し、活躍している。今後の期待も大きい。この先、当時の映像も含めて長いドキュメント番組がつけるとよいと思う。

事業者 参考にさせていただきたい。

会長 終了予定時刻となったため、以上で放送番組審議会を閉会する。

以上